

平成24年度 公共事業再評価調査

主管課：区画整理課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：西部プラザ公園整備事業			
	事業種別：都市公園事業	事業主体：八重瀬町	当初事業期間：H 3 ～ H 12	
	事業個所：八重瀬町地内	関係法令：都市計画法	事業期間：H 3 ～ H 28	
	総事業費(百万円)：4,112	費用内訳：補助 1/2	事業量：13.2ha	
	当公園は、沖縄古来の集落地の背後地(クサティ社)として、豊かな緑と歴史的遺産を残す丘陵地である。これらの、豊かな緑と歴史的遺産等の保全整備と、花と緑の増植、野鳥等の観察ができる施設、園路及び広場等の整備をすることで、地域住民及び町民に自然とふれあう憩いの場を提供する。			
2 再評価 該当項目	☐ ①事業着手から10年を経過 ☐ ②事業着手から5年以内の工事未着手 ☒ ③再評価後一定期間(5年)を経過 ☐ ④事業の中止			
3 再評価に 至った主な要因 (具体的理由)	☒ ①用地取得の困難 ☐ ②調査・設計の困難 ☐ ③事業の拡大 ☒ ④予算の確保 ☐ ⑤手続き・法令の問題 ☐ ⑥他事業との関係 ☐ ⑦整備効果の問題 ☐ ⑧当初計画の長期 ☐ ⑨その他()			
4 事業の進捗状況 (H25.3時点)	項 目	事業費(百万円)	施設整備(百万円)	用地取得 (百万円)
	計 画	4,112	2,709	1,403
	実施済	3,735	2,389	1,346
	率	91%	88%	96%
5 事業を巡る 状況の変化	① 社会・経済：那覇・糸満線の開通、急激な地域開発計画及び法人保育園、老人ホーム等の開園により都市化の影響が一段と高まったため、自然を生かした公園整備の推進が更に高まっている。 ② 自然・文化：特に問題はなし。 ③ 地元・自治体：特に問題はなし。 ④ 利害関係者：相続手続き等での遅れはあるが、特に反対者はいない。			
6 事業の必要性 ・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など 豊かな緑と歴史的遺産を整備保全することで自然を生かした体験学習等のできる施設の提供や自然とのふれあい等、地域住民のニーズに対応するため当該公園を整備する必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性) 用地取得が96%と進捗しており現計画を推進する。 ③ 事業効果の発現状況 ウマチー広場とそこへつながる園路及び、多目的広場はすでに整備済で多くの地域の祭事や運動の場として利用されている。			
7 今後の対応 方針・見通し	① 事業計画等：事業計画を延伸して、現計画を推進し、平成33年度完成をめざす。 ② 対住民関係：今後も、地域住民の声や専門家の意見等を聞きながら整備を進めていきたい、又、地域住民の理解も得られており特に問題はない。 ③ 執行体制等：市町村合併以降、人員削減等もあり厳しい状況ではあるが現執行体制で進めていく。			
8 評 価	☒ ① 事業継続(現計画) ☐ ② 事業計画(見直し) ☐ ③ 事業の中止			